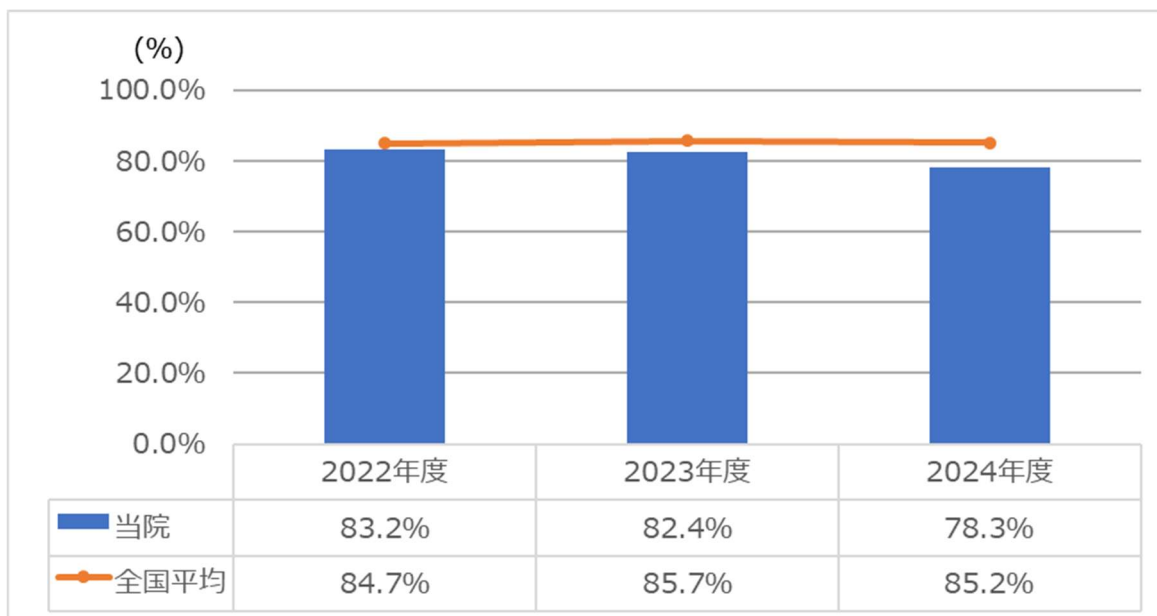


指標15 カルバペネム・ニューキノロン・抗 MRSA 薬使用までの培養検査実施率



<定義>

分子	分母のうち投与開始初日までに培養検査を実施した数
分母	カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬、抗 MRSA 薬(バンコマイシン内服は除く)投与を開始した入院症例数
期間	2022年度～2024年度(1年毎に集計)
対象	上記期間の退院患者

<解説>

全国のお施設の平均より低く、年々実施率が下がってきている。抗菌薬の適正使用を行う上で重要な因子の一つであることから、上昇するように取り組む必要がある。

※ 本データは厚生労働省提出用のDPCデータを基に作成されています。また、全国平均の値については、当院が参加している「医療の質と経済性に関する実態調査【京都大学大学院 QIP 事業】」における「医療の質の指標」の計測結果(事業に参加する全国の病院の平均値)を用いています。

【参考 URL】

<http://www.kch.kagoshima.jp/about/qip.html>(当院の QIP 参加について)

<http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/acts.html> (QIP における計測結果)